

連携先	Amazon Redshift / Salesforce	利用シーン	マイクロサービス	業種	サービス業
-----	------------------------------	-------	----------	----	-------



モノリシックなアーキテクチャーのチケット販売システムをマイクロサービス化

機能改修影響範囲が限定され
高速開発や迅速な障害対応が可能に

株式会社イープラス

東京都渋谷区恵比寿4-20-3
URL : <https://eplus.jp/>

導入背景

株式会社イープラスは、会員数1,100万人を超える業界最大級のチケット販売サイト「イープラス」を運営する。2000年のサービス開始以来「プレオーダー」システム、「座席選択サービス」、電子チケットシステム「スマチケ」をはじめ常に業界に先駆けて新たなサービスを提供し続けている。このチケット販売サイト「イープラス」をバックエンドで支えるチケット販売システムは当初一枚板（モノリシック）な構造でスクラッチ開発していた。しかしビジネスの伸長、多様化に伴いシステム規模が拡大。これに伴い様々な課題が発生するようになった。

課題

- **機能改修影響範囲の調査**
モノリシックな構造では、一部の機能改修の影響が全体に及ぶ可能性があり、影響範囲の調査自体が開発の大きな負担に。
- **障害時の影響範囲拡大**
障害発生時には、障害箇所への切り分けに時間を要し迅速な復旧を阻害。また、1箇所のトラブルがシステム全体に影響を与えることも。
- **システムが新施策試行を阻害**
他機能への影響リスクが高く、新たなマーケティング施策の気軽な試行が困難に。

導入

- **販売システムをマイクロサービス化し ASTERIA Warpで相互に連携**
モノリシックな構造の販売システムを機能単位で分割しマイクロサービス化。各サービスのインターフェースの差異を ASTERIA Warpで吸収しシームレスに連携。
- **外部サービスの活用**
Salesforceなどの外部サービスを活用することでスクラッチ開発の工数を削減。社内システムとは ASTERIA Warpで連携。

効果

- **開発・障害対応のスピードアップ**
機能改修時の影響範囲、障害時の切り分け範囲が1サービス内に限定され、開発・障害対応がスピードアップ。
- **売上に直結する開発体制に**
削減された開発工数をより売上に直結した新規機能開発にシフト。
- **柔軟な新施策試行が可能に**
機能追加・改修・削除が容易になり、新たな施策やタイムリーな施策を手軽に試行して効果を検証。
- **高可用性を維持**
障害対応及び復旧が迅速化。ASTERIA Warp自体の障害発生は一度もなく安定稼働。

ASTERIA Warp選定理由

- サポートしているDB・ファイル形式の種類の多さ
- 文字コード変換・データフォーマット変換の容易性
- 様々なプラットフォーム、クラウドサービスに容易に接続可能となる豊富なアダプターの提供

今後の予定

- **Google アナリティクス連携**
ASTERIA Warp Google Analytics アダプターを利用してGoogle アナリティクス上のユーザーアクセス情報を外部ファイルに蓄積、分析に利用していく。年内にはカットオーバーの予定。

お客様から一言

ASTERIA WarpのココがGood!



システム部 エキスパート
システム開発グループ
尾崎 欧州 様

ASTERIA Warpがデータハブの役割を担っているので、外部サービスとの連携も容易に行えるようになりました。

かつては内製することが多かった弊社ですが、今後は外部のサービス・製品を積極的に活用することで、さらなる開発スピードの向上を図っていきたく考えています。

